



地域とともに歩み、
地域の未来を拓く学校

湖南市立石部小学校
校報第152号

令和4年(2022年)3月15日
文責:校長 法山 由紀子

石部小学校に「笑顔の花」が咲き誇りますように…

6年生が総合的な学習の時間(石部小では「あぼしの時間」)に9月から学年で取り組んできた「石部小笑顔満開プロジェクト」が大詰めを迎え、卒業を目前にしてこれまでの取組を全校へ発信しました。

このプロジェクトは、「一人ではできなくても『みんなで』なら変わる」を合い言葉に、さまざまな課題と向き合いながら、そして学習を積み重ねながら、いじめや差別のない学校をつくっていくために取り組んできたものです。発信の方法も、グループに分かれて考えました。

3/7(月)からの一週間、お昼の放送でこれまで半年間にわたる取組の足跡を映像で紹介。「いじめとはどういうこと」に始まり、「自分達にできることは」に至るまでの学びを詳しく紹介しました。また、写真のように「いじめ防止」を呼びかけた横断幕やのぼり旗、ポスターや新聞を作成したグループもあり、それぞれ昇降口や廊下の掲示板に掲げて、今、いしべっ子の注目を集めています。

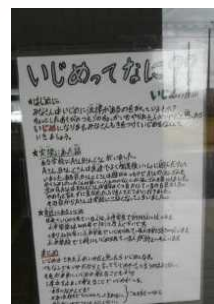
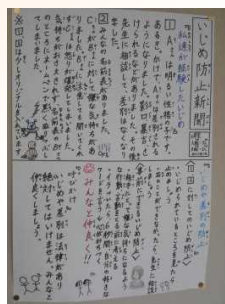
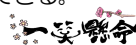


卒業する6年生は、この取組に本気で取り組んできました。だからこそ「自分たちが卒業してもいじめのない笑顔いっぱいの石部小学校をつくってほしい。」という、在校生のみなさんに託したこのメッセージも本気です。

この思いをしっかりと受け止め、みんなで引き継いでいきましょう!

石部小笑顔満開プロジェクト

みんなだから、できる。
この学年だから、できる。



「6年生ありがとう週間」

2月28日(月)～3月4日(金)の「6年生ありがとう週間」では、次年度の新リーダーとして5年生が企画や運営で大活躍しました。そして、最終日の3月4日(金)の2、3時間目に行われた「6年生に伝えタイム」では、各学年ごとに体育館に入り、6年生との貴重な時間を過ごしました。

1年生は、大好きな6年生との思い出のスライドをバックに「ありがとうの花(1年生Ver.)」の歌を送るとともに、運動会で踊った「タッタ!」のダンスを笑顔で披露しました。

2年生は、6年生と一緒に思う存分ゲームをして楽しみました。「拍手でイエスノー」石小Ver.と「だるまさんの一日」をしながら、6年生の学校生活を振り返りました。

3年生は、6年生にクイズを出題。「1年生の校外学習ではどこへ行った?」「6年生の名前に一番使われている文字は?」などなど。(正解は「か」)6年生は頭をひねって一生懸命考えていましたね。

4年生は、登校班で優しくしてもらった思い出やリレーマラソン大会でカッコいい姿を見せた6年生を「劇」にして発表しました。リコーダー奏「オーラリー」もすてきな音色でした。

5年生は、この会を企画、運営していくなかで、学校の新たなリーダーとして意識を高めました。インタビューコーナーも楽しく、心を込めて贈った「虹」の歌には、私もじいんときてしまいました。

後輩たちのメッセージをしっかりと受け取めた6年生は、翌週から「〇年生に伝えタイム」を計画し、各学年とふれあう時間をもつことで、お返し「ありがとう」の気持ちを伝えました。

各学年の「6年生に伝えタイム」の発表では、それぞれの学年集団としての成長を感じ、胸が熱くなりました。1年間さまざまなことを経験しながら一人ひとりの子も成長したことを実感しました。